

この取扱説明書は再生紙を使用しています。



本社・営業本部 〒103-8502 中央区日本橋箱崎町6-6 TEL(03)3669-8120

支店・営業所

札幌支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)261-7141
仙台支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)236-4121
盛岡営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭2-10-3	TEL(019)621-3541
東京支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6-6	TEL(03)3669-8118
水戸営業所	〒310-0043	水戸市松ヶ丘2-3-27	TEL(029)255-3761
宇都宮営業所	〒321-0933	宇都宮市築港町2313	TEL(028)636-3012
群馬営業所	〒371-0844	前橋市古市町233-5	TEL(027)210-7755
長野営業所	〒399-0033	松本市笹賀8155	TEL(0263)26-4377
柏営業所	〒277-0871	柏市若柴297-12	TEL(04)7132-1500
多摩営業所	〒190-0022	立川市錦町5-17-19	TEL(042)526-3051
名古屋支店	〒461-0025	名古屋市東区徳川1-11-23	TEL(052)935-8531
浜松営業所	〒433-8117	浜松市中区高丘東2-22-15	TEL(053)439-3300
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06)6444-2031
神戸営業所	〒650-0017	神戸市中央区楠町6-2-4	TEL(078)367-1580
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-6331
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092)411-5416
南九州営業所	〒891-0115	鹿児島市東開町3-24	TEL(099)269-5347

販売関係会社

新潟マックス(株)	〒955-0081	三条市東真館2-14-28	TEL(0256)34-2112
埼玉マックス(株)	〒331-0823	さいたま市北区日進町3-421	TEL(048)651-5341
千葉マックス(株)	〒284-0001	四街道市大日1870-1	TEL(043)422-7400
横浜マックス(株)	〒241-0322	横浜市旭区さちが丘7-6	TEL(045)384-5661
静岡マックス(株)	〒422-8036	静岡市駿河区敷地1-3-26	TEL(054)237-6116
金沢マックス(株)	〒921-8061	金沢市森戸2-15	TEL(076)240-1871
富山営業所	〒930-0827	富山市上飯野字樋向割10-8	TEL(076)452-0182
福井営業所	〒918-8237	福井市和田東2-1711	TEL(0776)27-3378
京滋マックス(株)	〒612-8414	京都市伏見区竹田段ノ川原町9	TEL(075)645-5061
岡山マックス(株)	〒700-0971	岡山市野田3-23-28	TEL(086)246-9516
四国マックス(株)	〒761-8056	高松市上天神町761-3	TEL(087)866-5599
松山営業所	〒790-0951	松山市天山2-1-35	TEL(089)913-0908

マックスサービスファクトリー(株)

本社・高崎サービスステーション	〒370-0031	高崎市上大類町412	TEL(027)350-7820
埼玉サービスステーション	〒331-0823	さいたま市北区日進町3-421	TEL(048)667-6448
札幌サービスステーション	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)231-6487
仙台サービスステーション	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)237-0788
名古屋サービスステーション	〒461-0025	名古屋市東区徳川1-11-23	TEL(052)935-8210
大阪サービスステーション	〒553-0004	大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06)6446-0815
広島サービスステーション	〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-5670
福岡サービスステーション	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092)451-6430

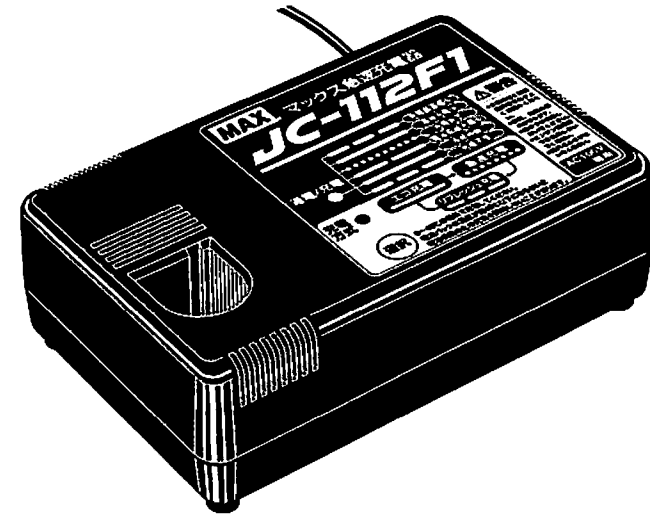
●マックスお客様ご相談ダイヤル(無料) 0120-228-358
月～金曜日 午前9時～午後6時
「ナンバーディスプレイ」を利用しています。

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

マックス急速充電器

JC-112F1

取扱説明書



警告

- 使用前に必ず取扱説明書を読む。
- 異常を感じたら絶対に使用しない。
- 指定電圧 (AC100V) で充電する。
- 充電器の電源に昇圧器などのトランス類は絶対に使用しない。
- エンジン発電機や直流電源では絶対に充電しない。
- 雨の中や水のかかる場所、湿気が多い場所では絶対に充電しない。
- 火気には近づけない。
- 燃えやすい物のそばで充電しない。
- 長時間使用しない時は、充電器の電源プラグを必ずコンセントから抜く。

- この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。
- 本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。



このたびは、マックス急速充電器をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

■表示について



警告

この表示は、取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。



注意

この表示は取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。また、取扱いを誤った場合には、充電器本来の性能を発揮しないばかりでなく本機の損傷につながる事が想定される場合を表しています。

■絵表示について



禁止

この記号は「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な禁止内容です。

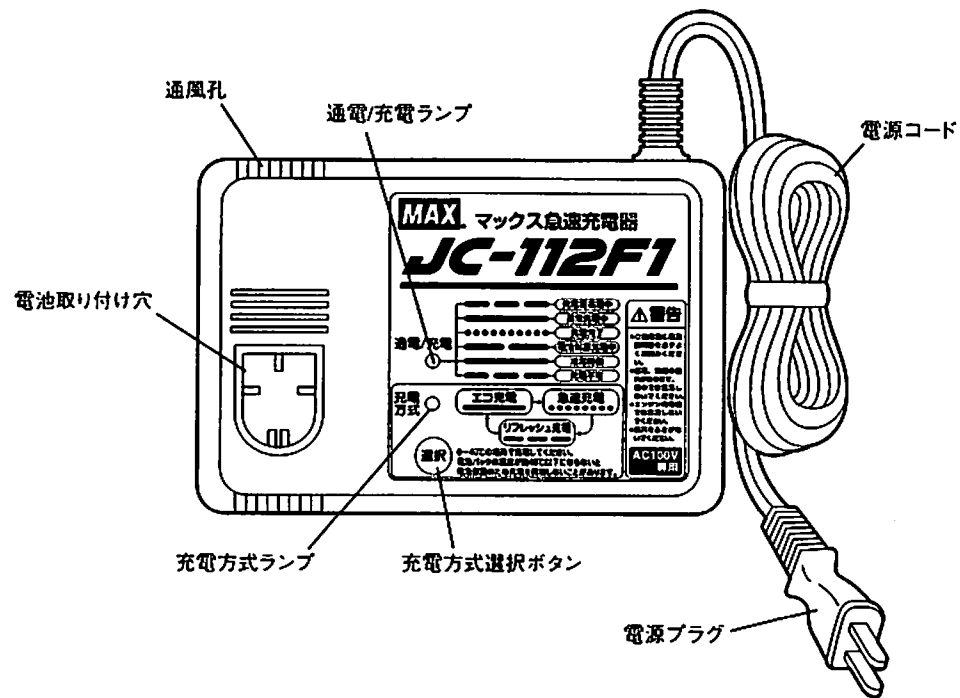
目次

1. 各部の名称	1
2. ⚠️ 安全作業のために	2
3. 仕様	7
4. 使用方法	8
5. ニカド電池のリサイクルについて	16

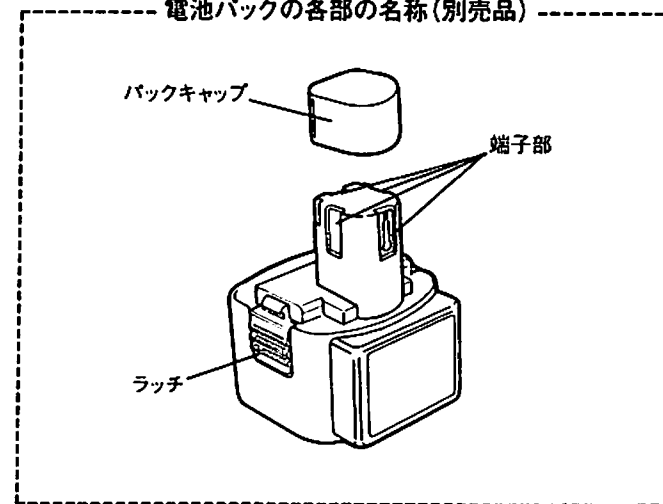
全国販売拠点、サービス拠点一覧

1 各部の名称

充電器 (JC-112F1)



電池パックの各部の名称 (別売品)



2 ▲ 安全作業のために

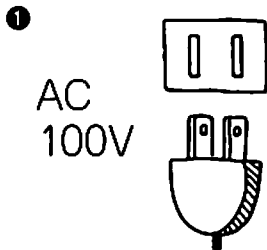
本機はマックス充電式電池パックを充電することを目的とした充電器です。指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近付けないでください。また、本機に触らせないでください。

長期間使用しますと各部品が消耗してきます。また、不完全なまま使うと、事故や破損の原因となります。異常のある場合は、お買い求めの販売店又はマックスサービスファクトリー(株)へ点検・修理に出してください。部品を交換する場合は必ず指定された純正部品をお使いください。

▲ 警告

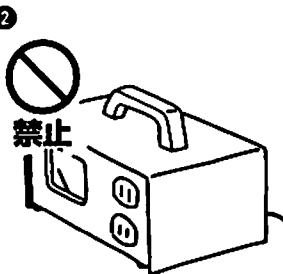
① 指定電圧で充電する。

必ずAC100Vのコンセントで充電してください。指定電圧以外の充電は故障の原因だけでなく、発火・発熱の危険性がありますので絶対にしないでください。



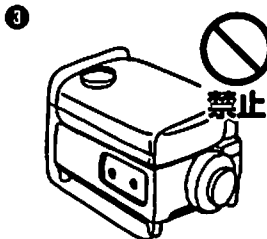
② 充電器の電源に昇圧器などのトランス類は絶対に使用しない。

充電器の故障の原因や焼損の原因になりますので絶対に使用しないでください。



③ エンジン発電機や直流電源では絶対に充電しない。

充電器の故障の原因や焼損の原因になりますので絶対にしないでください。



2 ▲ 安全作業のために

▲ 警告

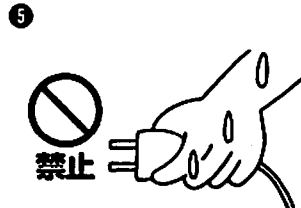
④ 雨の中や水のかかる場所、湿気の多い場所では絶対に充電しない。

水に濡れたまま充電すると、感電したり短絡（ショート）して焼損・発火による火災の恐れがありますので絶対にしないでください。



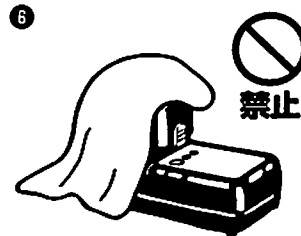
⑤ 濡れた手で絶対に触れない。

濡れた手で電源プラグ等を持つと、感電する恐れがありますので絶対にしないでください。

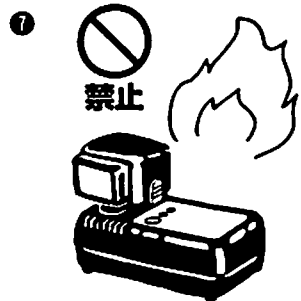


⑥ 充電中に充電器に布などを絶対にかぶせない。

布などをかぶせると発熱して焼損や火災の危険性がありますので絶対にしないでください。



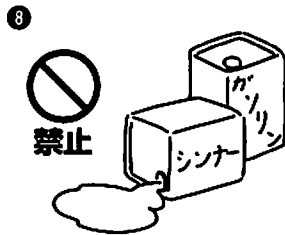
⑦ 火気には近づけない。



2 ▲ 安全作業のために

▲ 警告

⑧ 燃えやすいもののそばで充電しない。



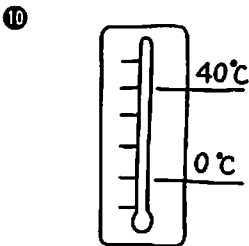
⑨ 直射日光を避け風通しのよい場所で充電する。

直射日光の下で充電すると高温になり、焼損や火災の危険性がありますので絶対にしないでください。



⑩ 周囲温度が0℃～40℃の範囲で充電する。

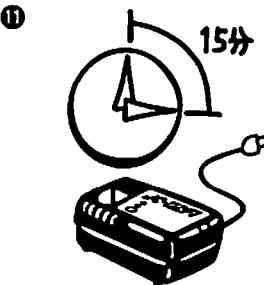
周囲温度が0℃より低い場合、また、40℃を超える場合は十分な充電ができません。



⑪ 連続充電はしない。

同じ充電器での連続充電は故障の原因となります。1度充電完了したら15分程度休ませてください。また、丸1日以上連続充電は電池パックの寿命を短くする原因となりますのでやめてください。

(P.15 **電池の不活性化について** の電池パック性能回復のための12時間充電を除く)



2 ▲ 安全作業のために

▲ 警告

⑫ 充電器の通風孔や電池パック差し込み口に異物を入

れない。

感電や故障の原因となります。ゴミやほこりの少ない場所でご使用ください。



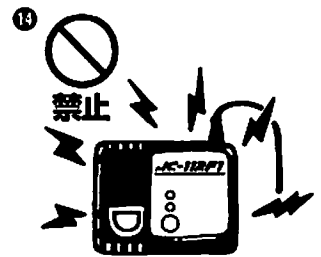
⑬ 電源コードは大切に扱う。

充電器の電源コードを持って運んだり、電源コードを引っ張ってコンセントから引き抜いたりすると、電源コードを傷め、断線、短絡（ショート）の原因になります。また、電源コードが刃物類や高熱のもの、油、グリスなどに触れないように注意してください。電源コードが損傷した場合は修理に出してください。



⑭ 異常を感じたら絶対に使用しない。

本機の調子が悪い時、異常に気づいた時は直ちに電源プラグをコンセントから抜いて、使用をやめ、点検、修理に出してください。



⑮ 大切に扱う。

落としたりぶついたりすると故障の原因となります。



2 ▲安全作業のために

▲警告

⑯本機を大切に手入れする。

より安全に性能を発揮させるため、本機は摩耗、損傷のない最良の状態に保ってください。また、乾燥させ、清潔にし、油やグリスが付かないようにしてください。

⑯



⑰本機は乾いたやわらかい布でふく。

濡れた布や、シンナー、ベンジンなど揮発性のものは使用しないでください。

⑰



⑱本機を分解しない。

万一故障した時は、点検、修理に出してください。

⑱



⑲本機を絶対に改造しない。

本機を改造すると本来の性能が発揮できないばかりでなく安全性が損なわれますので、絶対に行なわないでください。

⑲



3 仕様

商 品 名	マックス 急速充電器		
商 品 記 号	JC-112F1		
電 源	AC 100V 50/60Hz		
消 費 電 力	360VA		
適用電池パック	7.2V	9.6V	12V
	JP-107	JP-109、JP-309、 JP-309B	JP-112、JP-112B
急速充電時間 (エコ充電時間)	JP-107	約9分 (約20~60分)	
	JP-109、JP-112、JP-112B	約12分 (約25~65分)	
	JP-309、JP-309B	約15分 (約30~70分)	
質 量	約900g		

4 使用方法

⚠ 警告

●指定電圧で充電する。

必ずAC100Vのコンセントより充電してください。指定電圧以外の充電は故障の原因となるだけでなく危険です。

●電源コードは大切に扱う。

電源コードに損傷のある充電器はお使いにならず、修理に出してください。

●正常なコンセントを使う。

電源プラグを差し込んだ時に、ガタがあったり、すぐに抜けたりするコンセントをそのまま使うと過熱による事故の原因になります。このような時は、別の正常なコンセントをお使いください。

【充電方法】

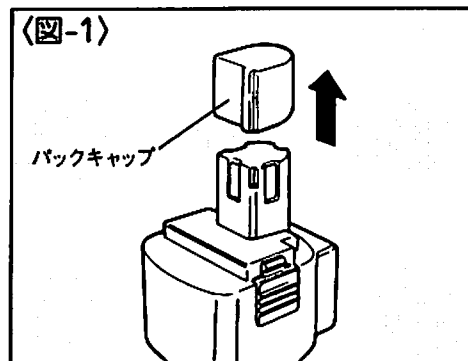
⚠ 警告

●充電式工具より電池パックを外す場合は、必ずスイッチを切った状態で外す。また、スイッチロック、トリガロックの付いている工具は、スイッチを切った状態でスイッチロック、トリガスイッチをロックし、電池パックを外す。

①電池パックのバックキャップを外す。

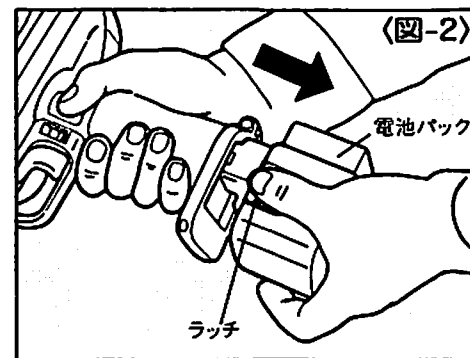
端子部にかぶせてある短絡（ショート）防止用のバックキャップを外します。

（図-1）



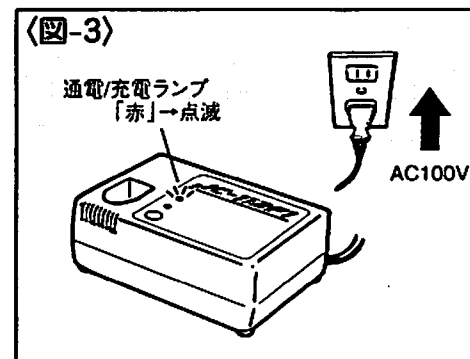
一度使用されて電池パックを本体に取り付けた場合は、本機より電池パックを取り外します。

本体をしっかりと持ち、電池パック両脇のラッチを指で押しながら取り外します。



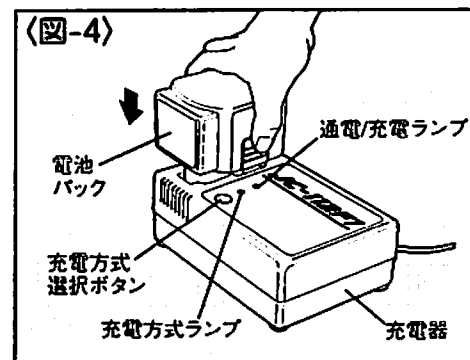
②充電器の電源プラグをコンセントに差し込む。

通電/充電ランプ「赤」が点滅して、通電状態をお知らせします。



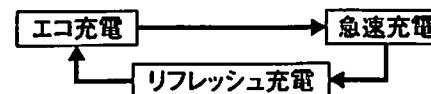
③電池パックを充電する。

1. 電池パックを充電器の電池取り付け穴の底にあたるまでしっかりと差し込みます。



2. 充電方式を選びます。

●充電方式選択ボタンを押すと順次切り替わります。



●選択すると充電方式ランプが約3秒間点灯し、約30秒後に確定します。

3.電池パックを充電器にセットすると、自動的に充電を開始します。充電ランプ「赤」が点灯して充電中をお知らせします。

4.【充電メモリー機能】

コンセントを抜いても前回の充電方式（リフレッシュ充電を除く）を記憶しています。（充電方式切り替え後、30秒以内にコンセントを抜いた場合は記憶されません。）

5.【冷却ファン付属】

電池パックを充電器に差し込むと、ファンによる送風を始めます。充電が完了すると、ファンの送風音が小さくなります。

6.充電方式の切り替えは充電パック差し込み後、30秒以内に行なってください。30秒を超えると切り替えができません。再度充電方式を切り替える場合は、電池パックを一度抜いてください。

7.電源プラグを抜いた後も通電/充電ランプ、充電方式ランプが約10秒程度表示点灯される場合がありますが、故障ではありません。

8.充電時間は、気温や電源電圧により多少変動します。

充電が完了すると、充電ランプ「緑」が点滅して充電完了をお知らせします。

充電完了した電池パックを再度充電器にセットすると、再び「赤」が点灯することがありますが故障ではありません。しばらくすると、充電完了の点滅になります。

9.低温時（約5℃以下）や、長い時間使用しなかった電池パックを充電する時は、電池保護のため45分充電になります。

充電ランプ「赤」が遅い点滅をして低温時充電中をお知らせします。

通電/充電ランプ「オレンジ」が遅い点滅をした場合

電池パックが熱を持っている時（例：工具の連続使用直後や、電池パックを直射日光の当たる所に長時間放置した後など）は、充電器にセットしても電池の保護のため、電池パックの温度が下がるまで充電を自動的に待機します。

通電/充電ランプ「オレンジ」が遅い点滅をして、待機中をお知らせします。電池パックの温度が下がると、自動的に充電がスタートします。

通電/充電ランプ「オレンジ」が点滅した場合

通電/充電ランプ「オレンジ」の点滅は、充電できない状態をあらわします。

この場合は、まずコンセントから電源プラグを抜きます。そして充電器から電池パックを抜いて、電池パック差し込み口に異物が入っていないか確認してください。もし異物が入っていたら、柔らかいものなどで異物を取り除いてください。

異物が入っていない時や、異物を取り除いても通電/充電ランプ「オレンジ」が点滅し続ける時は、電池パックまたは充電器に異常があると考えられますので、電池パック、充電器両方一緒にお買い求めの販売店又はマックスサービスファクトリー(株)へ点検・修理にお出しく下さい。

充電器・電池パックの故障について

次のような状態は故障と考えられますので、電池パック、充電器両方一緒にお買い求めの販売店またはマックスサービスファクトリー(株)へ点検・修理にお出しく下さい。

●充電器の電源プラグをAC100Vのコンセントに差し込んでも通電/充電ランプ「赤」が点滅しない。（電池パックをセットしていない状態で）

※コンセントに電気が来ているかどうかは、別の電気器具で一度お試しください。

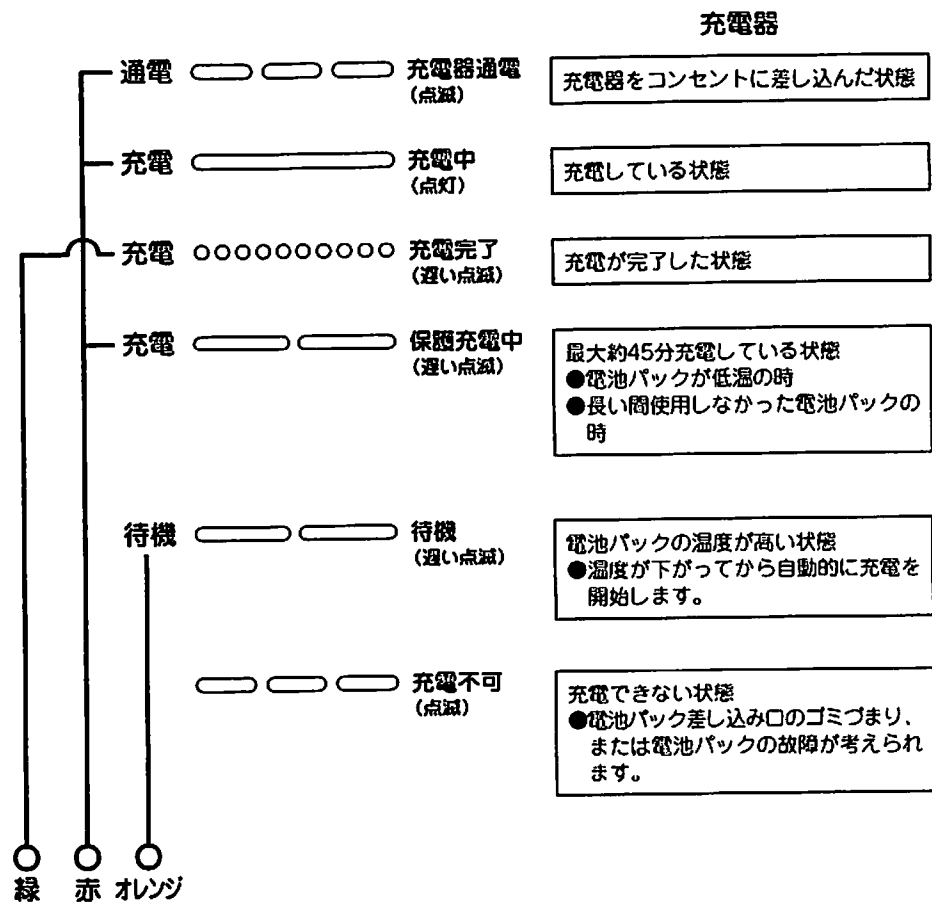
●充電器に電池パックをセットしても、通電/充電ランプ「赤」も「緑」も「オレンジ」も点灯点滅しない。

●通電/充電ランプ「オレンジ」が点滅後1時間以上しても充電ランプ「赤」に切り替わらない。

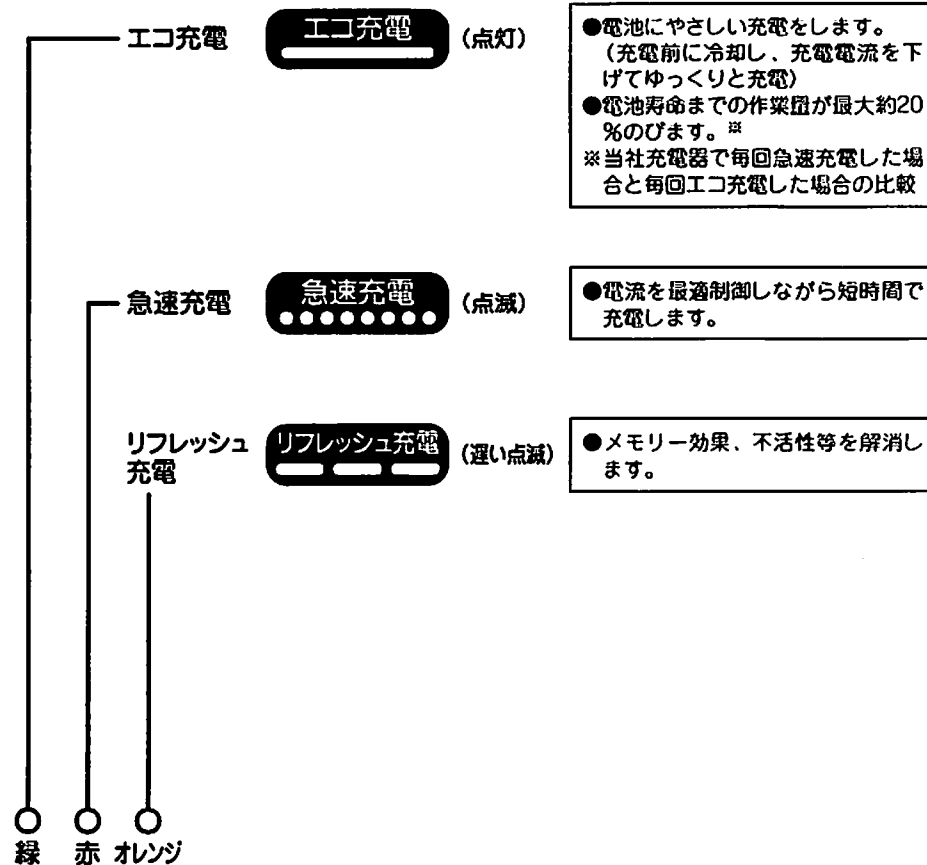
●充電ランプ「赤」が点灯後20分以上しても点滅に切り替わらない。（低温時充電の時は除く。）

●電池パックを差し込んだ直後にファンの送風音がしない。

充電時の充電器と電池パックのランプ表示について



充電方式表示について



リフレッシュ充電について

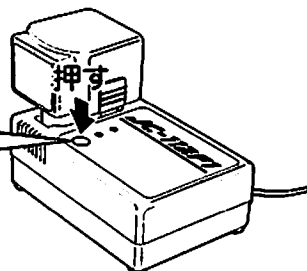
お手持ちの電池パックが以下の状態の時は性能回復のため、リフレッシュ充電を行ないましょう。

- 以前に比べて作業量が減ったと感じたとき。
 - 使用后、充電して保管していたが、2ヶ月以上放置していた電池をご使用になるとき。
- ※電池パックをお買い求めになった時は、リフレッシュランプが点灯しなくても必ずリフレッシュ充電をしてください。

充電器の **選択** ボタンを押してリフレッシュ充電を選んでください。

エコ充電、急速充電中にリフレッシュ充電へ切り替えることはできません。

12時間以内でリフレッシュ充電完了です。



(通常の充電と同様にリフレッシュ充電も冷却ファンで電池を冷やしながらいります。電池の状態を見ながらリフレッシュ充電を行なうため、ファンの回転数が途中で下がり、ファンの音が小さくなります。)

リフレッシュ充電を頻繁に行なうと電池パックの性能を損なう恐れがあります。

電池パックの寿命について

以下のような現象が出るようになりましたら、電池パックの寿命が尽きたものとお考えいただき、新しい電池パックをお買い求めください。

- 正しく充電を完了（満充電）しても充電パックの使用時間が著しく低下してきた場合。
- リフレッシュ充電を行なっても充電パックの使用時間が著しく低下してきた場合。

⚠ 注意

- 寿命の尽きた電池パックは**使わない**。

そのままお使いになりますと機械本体の故障の原因となり、充電すると充電器故障の原因ともなります。

電池パックの上手な使い方

- ①満充電して電気がなくなるまで、ほぼ使い切る。

蓄電された電気がまだ半分以上残っている状態での充電を繰り返し行いますと、電池の寿命が短くなります。

満充電する→なくなるまで使う→満充電するの繰り返しを長持ちさせるコツです。

⚠ 注意

- 使い切った後、さらに無理な放電は**絶対にしない**。

ほぼ使い切った状態の電池パックを無理に使い続けますと、過放電状態となります。このような使い方は電池パックの寿命を縮めることになり、機械本体の故障の原因にもなりますのでおやめください。

- ②過負荷状態での連続使用は避ける。

過負荷（本機の能力以上）状態での連続作業は、機械本体の損傷の原因になるばかりでなく、電池パックの温度上昇を引き起こし、電池パックの寿命を短くする原因ともなります。

- ③2コの電池パックを交互に使う。

ひとつの電池パックを繰り返し使うよりも、スペアを用意して交互に使う方が長持ちします。

電池の不活性化について

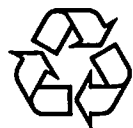
お買い求めの時や、長い間（2ヶ月間以上）ご使用にならなかった時は、リフレッシュ充電してください。（電池パックの性能回復のため）

5 ニカド電池のリサイクルについて

マックス電池パックはニカド電池を使用しています。ニカド電池はリサイクル可能な貴重な資源です。寿命の尽きた電池パックは廃棄せずにお買い求めの販売店、もしくは最寄りのマックス事業所・マックスサービスファクトリー(株)へお持ちください。環境の保全と資源のリサイクルにご協力をお願いいたします。

⚠ 警告

- 電池パックは短絡（ショート）防止のため、端子部に必ずバックキャップをかぶせ（絶縁テープを巻いて）、リサイクルへ出す。



Ni-Cd

ニカド電池は
リサイクルへ